

大町病院サポーターの会会報

No84

2019年7月発行

大町病院サポーターの会

発行責任者降旗剛

病院経営は大幅な黒字みこみ 昨年度決算、職員の献身的努力が実を結ぶ



6月4日、経営健全化に取り組む大町病院は2020年度（令和2年度）決算が5億1500万円の黒字になる見通しで資金不足が解消される見込みだと市議会全員協議会で報告しました。新型コロナによる受診控えで患者数は減りましたが、コロナ患者受入に対する国県の補助金収入が大きく、経営健全化の取り組みもあって資金不足が解消、経営再建の目標値を見込みより5年早く達成しそうです。

2020年度の入院患者は前年度比8.2%減の5万8556人、外来患者は9.5%減の9万1506人で、医業収益は前年度より2億3500万円減って39億8600万円の見込みです。一方感染症指定医療機関としてコロナ感染の検査や外来、感染者の入院受け入れ他の補助金が5億1200万円支給されました。2017年度決算で事業規模に占める資金不足額の割合を示す「資金不足比率」が国の基準の20%を超える22%となり、経営健全化計画を策定。職員給与抑制などを続けて19年度決算で黒字を計上、17年度に14億あった一時金借入金も20年度に4億円まで圧縮し、当初25年度を見込んでいた資金不足比率0%の目標を20年度に達成できる見込みとなりました。

この背景には、地域医療を守るために自らの賃金を抑え、未知の新型コロナウイルスに対し、医療従事者として孤立無援の中、自己の命をも顧みず患者に対し全職員一丸となって献身的な努力で対応した職員の皆さんの懸命な姿を忘れてはなりません。

この背景には、地域医療を守るために自らの賃金を抑え、未知の新型コロナウイルスに対し、医療従事者として孤立無援の中、自己の命をも顧みず患者に対し全職員一丸となって献身的な努力で対応した職員の皆さんの懸命な姿を忘れてはなりません。

いたんだ看板を補修しました



病院駐車場に掲げられている「思いやり駐車場」の看板の支柱が横に傾いていました。この脚をステンレス製に取り替えました。これは降旗剛会長が溶接機で曲がった脚を知人に切り取ってもらい、新たに材料を揃えドリルで足を固定し見た目にも良くしたものです。

栗原さんご苦勞さまでした 感謝です

高齢の入院患者とお話をする“おしゃべりボランティア”として10年余という長い間活動されてきた栗原洋子さんが75歳の誕生日をもって活動を停止されました。栗原さんは60代の頃は美麻大塩から自転車で週1回、70代には月4~2回、大町病院まで通われ、高齢の入院患者と会話をし、元気づけて励ましてこられました。また病院祭には自ら栽培した山野草や花の苗を販売し、代金をサポーターの会へ全額寄付していただきました。また、得意の手芸では、傘の布を使った、水濡れのしない手差しをたくさん作ってはサポーターの会や介護職場に寄贈していただきました。有難うございました。

栗原さんから事務局にお便りが届きました。紹介します。

「ご無沙汰しております。会報で色々の活動を知るにつけ、ただただ感謝で”ありがとうポスト”に入れたいくらいだと思っています。

ご報告を1つ。続けておりました”おしゃべりボランティア”本日4月30日を以て終わりといいたしました。(少し前から75歳の誕生日までと決めておりましたので)十年と少々の年月でしたが、私にはとてもいい時間でした。会員としてやっていると聞いていましたのでとりあえずご報告をと思いたしました。病院祭が再開されるときには山野草とテオイで参加いたします。宜しくおねがいします。」

立派なミニ菜園ができました

5月23日、午前9時から南等入り口北側にある花壇にミニ菜園と花壇が整備されました。この日は病院ガーデン部(代表西川葵医師、部員23人)の青木俊樹医師、松崎聡医師、中村厚子近藤さと美、瀬戸口順子親子、清水あさひ、サポーターの会から高橋博久次長の8人が参加しました。菜園にはトマト3本とキュウリ2本の苗が植えられました。



あじさいが咲きました 続いてやまゆりも

梅雨の風物詩としてあじさいの花がクローズアップされますが、大町は標高が700mあるため、開花が遅れています。その大町病院の桜の下に、市民から寄贈されたあじさいの花十数株が色とりどりの花を咲かせています。

花壇の前には昨秋植えられたやまゆりも大きな蕾を付け、咲き始めています。先日、サポーターの会有志が草取りと添え棒をし、油かすを施しました。



赤飯、ラベンダー、梅、玉ねぎ等を差し入れ 病院職員の皆さんに感謝の気持ち届ける



6月28日、降籙剛会長が作ったもち米で自ら蒸した35パック詰めの赤飯と、八坂野平自治振興会が管理、育てたラベンダー園で、降籙剛会長、渋田見博副会長・事務局長、相澤文人次長、内山博次長が切り取ったラベンダーの花3ケースを、降籙剛会長、相澤次長、高橋次長が差し入れしました。熱々の赤飯と癒やしのラベンダーの花に感謝されました。



6月22日、玉ねぎ60Kgを医局に贈りました。今年は、猿による被害もなく、大玉に育ちました。タマネギの栽培は8月中旬に種をまき、10月下旬に苗を植え、雪の下で春を待ち、翌年の6月下旬に収穫するという10か月余という最長クラスの栽培期間となります。それだけに収穫時は喜びもひとしおです。昨年は猿による被害

で収穫が思うようにできませんでしたが、今年は上々の作柄となりました。玉ねぎは大きければ良いということではなく料理するのにちょうど良い、手の平に乗る大きさが喜ばれます。

7月1日、豊後梅16kgを差し入れしました。これは松下吉邦次長と大日向明幹事がそれぞれに無農薬で育てた梅です。ソブなどが少しは付きますが安全安心ということで、大北地方では出荷するもの以外は自然の成長に任せています。



7月11日、キャベツ30個を差し入れしました。品種は「初秋」といい、大きくて柔らかく市販されていないものです。

松下吉邦次長が苗を起しそれを高橋次長が定植し育てたものです。苗を植えると同時に防虫ネットをかけ、

減農薬、有機肥料で育てたものです。

キャベツの根元付近には虫やミミズが入っている可能性があります、虫が寄ってくるほど安全性が高いと作者は言っております。(笑)

お知らせ・・・小雨決行

花壇の草取りは8月8日(日)6:30集合で

病院周辺の花壇の草取りを行います。今回は90人を超える大イベントとなりました。今回はあじさいなどの花がさいている中での作業となります。奮って参加してください。

草掻きなど道具は会で用意します。軍手はお持ちください。

会費納入者(順不同・敬称略:7月12日現在) ありがとうございます。

個人会費 堀堅一 相川たか子 島田元実 内山博 高橋博久 松澤郁子 松田富子 佐藤千枝子 太田勝
小林英樹 川上節子 佐藤淳子 清水潤子 清水あさひ 山口悦子 安達貞司 上田智夫 田辺芳宏
松田俊郎 傳刀昭一 酒井孝芳 伊藤甚弑 川上瀧夫 若松正枝 宮崎栄介 西沢正敏 太田正治
志賀一夫 塩入博仁 塩入優子 平林千里 中村薫 吉田弘己 平林久保 小池利治 栗林里子 黒岩正彦
太田千鶴子 吉岡博子 宮坂里津絵 倉科幸 種山博茂 柳沢たに江 牛越徹 志賀洋子 横田孝穂
吉澤伸 中村洋子 松坂則子 田中秀司

団体会費

大北保険薬局事業協同組合 (株)峯村組 大町市体育協会 菜の花ステーション キハダ飴本舗
大北薬剤師会 長野県労働金庫大町支店 大北歯科医師会 アズサイエンス(株) (有)五十嵐木材
富士電機パワーセミコンダクタ(株)大町工場 大町市職員労働組合 木崎湖温泉開発(株) れんげ
福祉会